

(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+5.9%、前年同月比+10.2%。売上高は前月比+7%、前年同月比+7%となった。

(繊維・衣服)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

物価上昇により消費が低迷していると推測される。政府の支援策が早期に決定されれば、状況が改善する可能性がある。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全 国】

令和7年9月の全国新設住宅着工戸数は63,570戸で前年同月比▲7.3%、季節調整済年率換算値では728千戸で前月比+2.4%、利用関係別では、持家が18,273戸で前年同月比▲5.6%、貸家が28,494戸で前年同月比▲8.2%、分譲住宅が16,428戸で前年同月比▲8.3%であり、木造住宅は40,060戸で前年同月比▲2.2%となった。住宅着工動向は、持家、貸家および分譲住宅がいずれも6ヶ月連続の減少となり、木造住宅についても再び減少に転じた。

【広島県】

令和7年9月の着工戸数は1,040戸で前年同月比▲28.6%となった。内訳は、持家が305戸で前年同月比▲16.9%、貸家が409戸で前年同月比▲35.7%、分譲が326戸で前年同月比▲28.2%であった。県全体の住宅着工戸数は5ヶ月連続で前年同月比の減少が続き、延床面積も前年同月比▲22.9%となっており、木材需要の見通しは厳しい状況にある。

伐採シーズンで国産材丸太の出材量は増加しているが、工務店の新築受注不振により製品販売は低調で、原木相場は軟調に推移している。コスト上昇による価格転嫁を目指しているが、相場は横ばいである。

建築確認審査の遅延は解消されつつあるものの、製材工場の商況は停滞感が強く、先行き需要は不透明である。為替変動、地価上昇、省エネ性能向上、物流費上昇などにより住宅価格が高騰しており、木材需要の見通しは厳しい。非住宅分野を含めた需給動向を注視し、柔軟な対応が必要である。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

原材料費および人件費の上昇に伴い、販売価格の引き上げが必要との認識が業界内で広がっている。官公庁からの発注案件について、適正価格・適正条件での発注を実現するための取り組みを開始した。各地域の発注条件を調査し、問題のある案件については改善に向けた交渉を進めていく予定である。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

自動車業界においては、米国の関税政策により、今期の業績が大幅に悪化すると予測されている。また、円安を主要因とするインフレの進行に歯止めがかからない状況である。さらに、中国による半導体やレアアース輸出規制のリスクも顕在化しつつある。新政権における経済対策への期待はあるものの、即効性は期待できず、下期の景況感は悲観的である。来年の春闘交渉も困難が予想される。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

日用品関連では食料品価格の上昇が需要に影響を及ぼしている。業界全般で売上高や受注量の低迷が続く中、為替が円安傾向であり、原材料、エネルギー、副資材、消耗品などの価格上昇リスクへの懸念が拡大している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和7年10月 2,417 m³ (前年比92.2%)

令和7年09月 2,525 m³

令和6年10月 2,620 m³

・令和7年度想定数量 700,000 m³

広島県西部砕石協同組合

公共事業が大幅に減少している。民間建築についても目立った動きがなく、停滞した状況が続いている。

●一般機械

(一般機械器具)

リョービ関連工業協同組合

株価の上昇とは対照的に、一部の業界は低調に推移している。今後の見通しも不透明な状況である。

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+2.5%、前年同月比▲3.3%となった。海外からの受注は順調であるが、国内については米国の関税政策等の影響により売上が低調である。また、販売価格の引き上げについても同業他社との競争により十分な値上げができない状況である。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比+10%、前年同月比+0.3%となった。売上はかろうじて前年並みを維持しているが、材料費の高騰などにより収益性は悪化している。また、自動車業界の動きが低調なため、工作機械の需要も鈍化している。特にFA (ファクトリーオートメーション) 業界の動きが悪かったが、最近、米国の関税政策が決着したことで、若干動きが出てきたように見受けられる。

(鉄鋼業)

軀鉄鋼協同組合連合会

組合員各社の状況は概ね横ばいで推移している。一部企業を除き、人手不足が直近の課題となっている。対策としては外国人技能実習生や高齢者の活用に頼らざるを得ない状況だが、抜本的な解決には労働環境の改善や賃金アップを可能にするための付加価値向上が必要であり、経営者の意識改革が求められている。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

(10月度自動車国内販売動向)

全需は365千台、前年同月比▲2.7%と4ヶ月連続で減少。(登録車は▲6.2%、軽自動車は+2.9%) マツダ車は▲27.1% (マツダの内訳: 登録車▲31.2% (8.1千台)、軽自動車▲11.4% (2.7千台))。

(9月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,267千台で、前年同月比+6.4%と3ヶ月連続で上昇。マツダは▲12.3%と、前年同月を2ヶ月連続で減少となった。

欧州の全需は1,314千台で、前年同月比+10.6%と3ヶ月連続で増加。マツダは▲4.8%と6ヶ月連続で減少となった。

中国の全需は2,120千台で、前年同月比▲0.5%で微減。マツダは▲37.0%と再び減少となった。

マツダの9月の海外販売は、全ての地域で奮わず、合計台数は80.4千台、前年同月比▲11.0%と減少となった。

(9月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、回復の兆しがあり前年比+0.4%と微増。国内生産台数は、回復基調にはあるが前年同月比▲0.1%と横ばいとなった。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和7年9月の船舶建造許可実績は4隻、219,700総トンであった。(前月1隻25,200総トン、前年同月3隻201,100総トン) なお、内訳は、輸出船が4隻で貨物船であった。

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

- ・仕入価格の高騰に加え、直接・間接コストの上昇が続いており、販売単価への価格転嫁が追いついていない状況である。卸売各業種とも売上数量は頭打ちが続いている
- ・個別業種では、資材関連が比較的堅調である一方、雑貨、食品、繊維品は価格・数量ともに頭打ちが続くなど、業種間のばらつきが顕著になっている
- ・当月は組合員の倒産・廃業が複数件発生した。これらの企業は元々赤字体質で厳しい経営状態が続いており、最終的に倒産・廃業に至った。また、倒産・廃業には至っていないものの資金繰りが逼迫している企業も散見され、年末に向けた資金繰り状況を注視する必要がある

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

当月の売上状況は、前月比で増加、前年同月比で横ばいとなった。令和7年1月以降、パナソニック製品の価格改定に伴う配線器具の出荷制限により、全体的に配線器具の入荷が滞っている。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・当月の中央市場水産部では、近海物鮮魚の入荷が低調な状況が続いたが、ほぼ全ての商材で相場が上昇し、市場全体の取扱高は前年を若干上回った模様である
- ・猛暑の影響と思われる秋鮭の不漁や帆立貝の不作に加え、養殖ハマチ・ブリも相次ぐ価格上昇で昨年の約2倍近い価格となっており、年末の売れ行き予測が困難な状況である
- ・当月の中央市場青果部の取扱高は前年比98.5%、入荷量は102%となった。白菜、レタス等の葉物野菜は今秋の降雨により生育が良好で、供給は順調、価格も比較的安定している
- ・果物類については、消費者の食費節約志向が影響し、売上は低調に推移している模様。スーパーマーケットの惣菜による野菜摂取や業務用スーパーでの購入傾向がさらに強まると予想される

協同組合三次ショッピングセンター

施設全体の売上は前年同月比106%、来店客数は107%と、前月に続き好調であった。売上増加の要因として令和7年10月からの商品価格改定の影響もあるが、施設来店客数も増加しており、全店舗が前年以上の売上で目標額を達成している。大型店舗は順調に推移しているが、各小売専門店では人件費や資材費が継続的に上昇し経費負担が増加しており、販売価格への転嫁が追いつかず、売上が伸びても十分な利益を確保できていない状況である。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和7年10月度販売実績92%（前年同月比）。AV商品89%、白物商品97%、薄型テレビ87%（内有機EL71%）、DVD62%、冷蔵庫89%、洗濯機104%、IHクッキングヒーター86%、エコキュート104%、エアコン103%、炊飯器85%、電子レンジ100%、掃除機93%。

メーカーが家電製品の販売比重を減らし、販売会社による専門店支援が弱まってきている。商品の品切れも多く、販売店是对応に苦慮している。将来的に海外（中国・台湾）メーカーの参入が増加すれば、品質管理が課題となる可能性がある。

●商店街

呉本通商店街振興組合

- ・令和7年9月に洋品店、10月にタイヤマンが閉店し組合を脱退したことにより、組合員数は69名に減少した。閉店・廃業の要因は、商店街の低迷による売上減少、後継者不在、経営者の高齢化（体調不良）である
- ・当月は地区内で10月5日に入船山秋祭り、10月11日にハロウィンナイトれんがどおり、10月11～12日に亀山神社例大祭（秋祭り）、10月13日に海自カレー呉グルメフェスタなど、多くのイベントが開催され、それぞれ多数の観光客で賑わった。イベントの集客を商店街活性化にどのように繋げるかが大きな課題となっている

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲5.9%、前年比▲0.2%
- ・車検場収入は、前月比▲2.5%、前年比▲2.3%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲4.4%、前年比▲11.6%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

案件獲得により売上は上昇したが、全体的な稼働率は低い状況である。年末に向けての稼働増加に期待している。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、令和7年10月度は前月比+200%、前年同月比+30%となった。10月は前月と比較して特にカーテンラベルの発行枚数が増加しているが、前年同月累計の数値にはまだ届いていない。

福山地区電気工事業協同組合

当月の受付件数は556件で、前年度と比較して減少となった。今年度も下半期に入ったが、上向く傾向は見られない。

神辺建設業協同組合

- ・物価高騰が進行している
- ・業況は公共工事、民間工事ともに横ばいとなっている
- ・発注状況は若干停滞している

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった
- ・軽油価格は、原油価格の値上がりと為替レートの円安進行があったものの、原油値下がりの影響が大きく結果として値下げとなった

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・令和7年10月も9月同様に業務量が増加しており、収益状況、資金繰りも好転が継続している。前年同月比では特に変化はない。今年度は固定資産評価の公的評価作業がある分、収入は増加する見込みである
- ・不動産市場については、人材不足による新築工事の遅延などにより、戸建住宅、共同住宅等の販売が減少しているマンション販売についても、前月同様、新築マンション・中古マンションともに売れ行きは低調となってきている
- ・今後は戸建て、マンションともに新築物件の価格高騰により、中古物件を購入してリフォーム・リノベーションする需要が増加すると思われるが、リフォーム業者の人手不足により、販売は鈍化傾向が続くと予想される